

## ◆みんなの夢の実現、これが「協働の底力」です。

### ●協働の底力組とは・・・

協働の底力組は、NPOや市民団体等で活躍する県民の方々（民間委員）と、交通基盤部を中心とした県職員（行政委員）により構成されており、平成16年に誕生しました。



### 協働による“地域づくり”を県下に広げよう！

という目的のために、県内各地で「よりあい会（行政関係者の意見交換会）」「くるまざ会（現地視察と意見交換会）」「地域づくり発表会」を開催し、県内各地に協働の“輪”を広げています。

### 「ひとりでも多くの方に、協働による“地域づくり”の素晴らしさを体験してもらいたい！」

これが、底力組の願いです。



## ◆虎の巻には協働のヒントが満載です。

- 「虎の巻」は、
- 協働による“地域づくり”の参考書とする
  - 協働の“意識”を啓発し、協働に関わる人の教材とする を目指しています。

皆さんに活用していただき、協働による“魅力ある地域づくり。”の輪がさらに大きく広がることを願っています。なお、個々での取り組みは、静岡県交通基盤部の基本理念である「いっしょに、未来の地域づくり。」として、道路、河川、港湾、空港、まちづくり、公園、農山村、森林などの社会資本の整備や維持管理、利用・活用における協働を中心に作成しています。

### 本編

本編では、協働に関する予備知識や基礎知識に加え、協働の“コツ”や“ノウハウ”さらには具体的な取組事例等を紹介しています。

- 序章 はじめに
- 第1章 「協働の底力。虎の巻」の基本的な考え方
- 第2章 「協働の底力組」の取組
- 第3章 協働をはじめる前に
- 第4章 協働事例の紹介
- 第5章 協働の“きっかけ”
- 第6章 協働の“コツ”
- 第7章 “地域づくり”における協働のあり方
- 終章 おわりに

### 参考資料編

参考資料編では、社会資本整備の「構想・計画」づくりから工事完了後の「維持管理、利用・活用」に至る各段階における協働の基本的な考え方や進め方、留意事項等を分かりやすく紹介しています。

- 第1章 協働の基礎知識
- 第2章 社会資本整備における協働
- 第3章 資料

「虎の巻 本編・参考資料編」は、静岡県ホームページ「協働のひろば」でご覧になれます。  
[www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-030i/kyoudou.html](http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-030i/kyoudou.html)  
 県内の協働事例については、「しずおか地域づくり協働ナビ」HPもご覧ください。  
<http://www.shiz-kyoudou-navi.jp/>

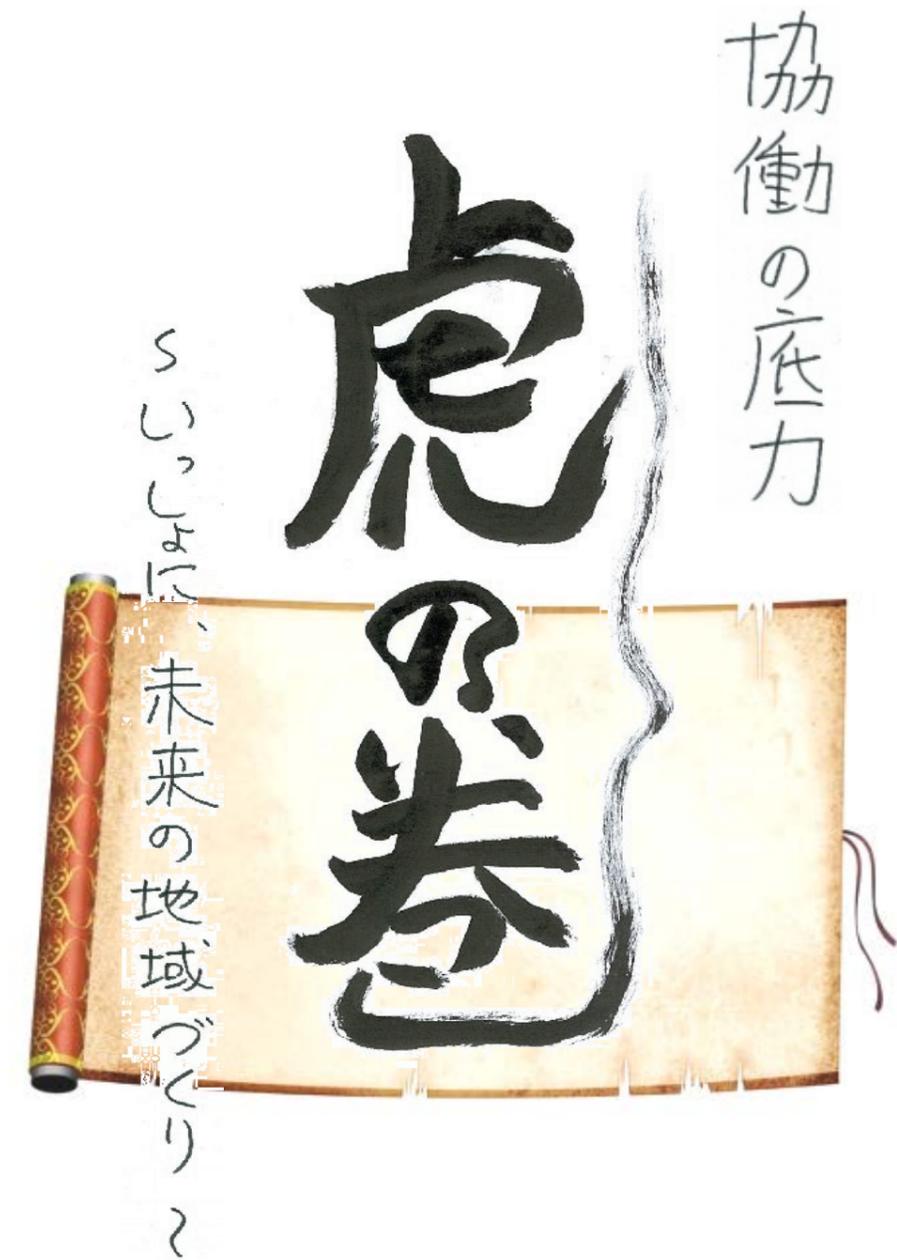


「虎の巻」に関するお問い合わせはこちらまで  
 静岡県 交通基盤部 建設支援局建設技術監理センター  
 〒417-8601 静岡市駿河区用宗1丁目10-1  
 TEL : 054-268-5004 FAX : 054-258-6030  
 e-mail : gijyutsu-center@pref.shizuoka.lg.jp

協働のひろば

検索

インターネットで「協働のひろば」をキーワードに検索  
 あなたの検索をお待ちしております。  
 ダイジェスト版 : 平成25年3月



ダイジェスト版

あなたのまちの協働は、今日 どうですか？

 **協働の底力組**

# ◆社会資本整備で進む、協働の取り組み

社会資本の整備は、一般的に、「①構想段階」「②計画段階」、工事等の「③実施段階」、また、工事等によって完成した公共施設などの「④維持管理・活用段階」の4つの段階に分けられます。こうした段階ごとに、様々な協働の形が考えられます。

## ①構想段階

### 【行政の役割】

- 地域ニーズの収集・把握
- 積極的な情報公開・提供
- 事業の目的と必要性の明確化

### 【市民の役割】

- 地域への関心を高める
- 地域課題の把握・整理
- 行政との連携、協力による取組の提案

### 【実施されている協働の形】

- タウンミーティング
  - 地域住民と行政が交流し、情報を交換し、話し合う対話型の集会により、地域課題の解決に向けて、意見を交換します。



ふじのくに美農里プロジェクト(県内各地)

### ■ 地域点検まち歩き

- 地域住民と行政と一緒に歩き、地域の“魅力”や“課題”を図面に整理することで、新たな発見が得られる他、共通認識が高まり、その後の話し合いがスムーズに進みます。



歩道計画ワークショップ(焼津市)

### ■ ワークショップ

- よりよい地域の姿を地域や地権者の方々と行政と一緒に描き“構想案”を作成します。

## ②計画段階

### 【行政の役割】

- 計画の策定と決定
- 法定手続き

### 【市民の役割】

- 行政と連携・協力した計画づくり
- 利活用方針の検討

### 【実施されている協働の形】

- 先進事例の視察
  - 対象となる社会資本整備に先進的に取り組む地域を、地域住民と行政と一緒に訪問し学ぶことで、その考え方やアイデア等を、共通認識のもとに計画づくりに反映することができます。
- ワークショップ
  - ワークショップにより計画づくりを進めることで、整備内容や規模など、地域のニーズを的確に反映させることができます。
  - 円滑な合意形成が期待できます。



子ども達も参加したワークショップ

### ■ 現地説明会

- 道路整備などにおいては、住民や地権者の方々と一緒に、道路幅員、整備の内容を確認しながら、現地にあった計画を策定します。



倉真地区の現地説明会(掛川市)



## ③実施段階

### 【行政の役割】

- 用地買収
- 工事の監督
- 供用開始に向けた作業

### 【市民の役割】

- 工事への理解と関心を高める
- 利活用の具体的な計画
- 整備施設に対して愛着を持つ

### 【実施されている協働の形】

- 現場見学会や工事体験会の開催
  - 工事現場で見学会等を開催することで、地域住民の工事に対する理解が進み、円滑に工事を進めることができます。
  - 学校や工事の施工会社と連携し、小中学生が工事現場を実体験できる機会を設けることで、貴重な総合学習の場となるだけでなく、整備後の施設に愛着を持つきっかけとなります。



現場見学会・工事体験会  
総合学習(県内各地)



### ■ ワークショップ

- 整備施設の完成後の具体的な利活用や維持管理方法等について、地域と行政と一緒に考えます。新たな地域づくり活動や生涯学習の創出につながります。



伊久身地区のワークショップ(島田市)

## ④維持管理・活用段階

### 【行政の役割】

- 日常パトロール
- 課題や問題の発見  
⇒ 応急対応
- 高度な技術を要する  
維持管理、具体的な維持管理・修繕工事
- 利活用プログラムの企画と実施
- 利活用のなかでの安全性の担保

### 【市民の役割】

- 日常点検⇒行政への連絡・相談
- 清掃や美化活動等の維持管理
- 施設を利活用し、色々な人が参加できるプログラムの企画、実施

### 【実施されている協働の形】

- 公共施設の調査や点検等
  - 地域の安全を確保するため、地域住民が日常的に構造物を点検して、結果を行政に連絡しています。
- 公共施設の清掃や美化活動
  - 地域住民による歩道の清掃や花壇の手入れ等は、地域に美化意識が芽生え、まちを愛する“心”につながります。
- アダプトロードプログラムやリバーフレンドシップ制度など、地域と行政の協働による道路や河川の維持管理が行われています。
- 公共施設の利活用
  - 協働で整備した施設や公共施設を活用することで、ふるさと意識やまちづくりへの意識を醸成していきます。



丸子弁が谷(静岡市)



道路アダプトロードプログラム(南伊豆町)



まち歩きエクスカッション(静岡市)